

平成十三年三月二十二日（木）
第三回総合科学技術会議

本日は熱心なご議論を頂きありがとうございました。

まずは、諮問第1号「科学技術に関する総合戦略について」に対し、我が国の科学技術振興の基本となるものにふさわしい、骨太で、かつ具体性・実効性のある内容の答申をいただき、感謝申し上げます。政府としては、本答申に基づき、「科学技術基本計画」を早急に策定し、御提言の政策の実現を図ってまいります。また、本答申につきましては、早速明日の閣議において、笹川科学技術政策担当大臣からご報告させていただきます。

また、本答申においてもその重要性が指摘されている、研究開発評価のあり方について、本日、共通ルールとしての大綱的指針の策定を、新たに諮問いたしました。総合戦略の内容を十分踏まえて、専門調査会を活用しつつ、本年秋までに答申をお願いいたします。

さらに、本日、その活用に関する基本方針等についてご議論いただいた、科学技術振興調整費については、総合科学技術会議が、我が国全体の科学技術に関する施策を俯瞰した上で、機動的かつ戦略的に活用する資金として極めて重要なものがあります。本日決定された基本方針に沿って、その有効な活用を図ってまいります。

ナノテクノロジー・材料分野の最近の動向についても白川議員からご報告いただきました。新超伝導体の発見等、ダイナミックな動きが展開され、広い分野にわたっての応用が期待されております。我が国から、世界をリードするような研究が次々と生まれ、産業に活かされていくよう、総合科学技術会議において、戦略的かつ機動的な推進に取り組んでまいります。

最後に、科学技術を巡る動向は、日々変化しております。未来への先行投資とも言える科学技術の振興を戦略的かつ機動的に行うため、引き続き、議員の皆様のご尽力をお願いし、ご挨拶といたします。